

ヤマメ大きく育てて

23, 7/1

串間市淡水漁業協同組合（河野日出男組合長）は30日、同市大平の大平川上流域でヤマメの稚魚約千匹を放流した。同川で行うのは初めてで、組合員や市職員約10人が参加。ヤマメの成長やヤマメ漁の定着を願いながら川に放した。

ヤマメ放流は資源増加を目的に毎年実施している。これまで同市大矢取の大矢取川に放流していたが、2005年の台風14号による土砂災害の影響で川が濁り、成長が見込めないため、今年から場所を変えた。

体長7〜8センチほどの稚魚は延岡市北川町の養魚場が提供。大平川上流域の3カ所でトラックからバケツで運んだり、そのままホースを川に向けたりして、

串間市協 淡水漁 大平川に稚魚放流



串間市の大平川上流であったヤマメの稚魚放流

放流した。

稚魚は最初、水温の変化に戸惑うようにじっとしていたが、しばらくすると元気に散らばっていった。

組合員は95人でシラスウナギ漁が主。河野組合長（62）は「大平川もかつて採石場の影響などで濁ったことがあったが、今は随分清流に戻りつつある。ヤマメ漁ができるようになってほしい」と話していた。